



地域の笑顔を
一緒につくろう。

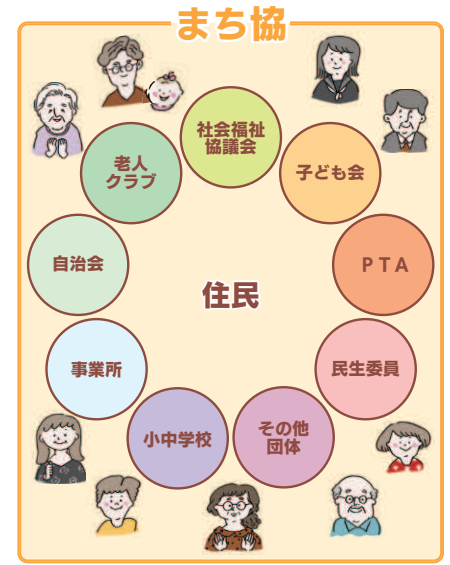
①吉田南わくわくスポーツフェスタ（吉田南地区協議会）／②長善館カルタ会（粟生津地区協議会）／③塞の神（粟生津地区協議会）／④スカットボール（島上地区まちづくり協議会）／⑤おすしやさんにいらっしやい！（燕東コミュニティ協議会）／⑥花いっぱい運動（燕北地区まちづくり協議会）／⑦地域防災訓練（燕第一地区まちづくり協議会）

■まち協一覧と構成エリア

| 協議会 | 構成エリア |
|----------------|-------------------------|
| 燕北地区まちづくり協議会 | 小中川小学校区 |
| 燕第一地区まちづくり協議会 | 小池小学校区・大関小学校区・燕西小学校区の一部 |
| 燕西地区まちづくり協議会 | 燕西小学校区 |
| 燕第二地区まちづくり協議会※ | 燕南小学校区・燕東小学校区の一部 |
| 燕東コミュニティ協議会 | 燕東小学校区 |
| 吉田地区まちづくり協議会 | 吉田小学校区 |
| 吉田北まちづくり協議会 | 吉田北小学校区 |
| 粟生津地区協議会 | 粟生津小学校区 |
| 吉田南地区協議会 | 吉田南小学校区 |
| 分水小学校区まちづくり協議会 | 分水小学校区 |
| 分水北地区まちづくり協議会 | 分水北小学校区 |
| 島上地区まちづくり協議会 | 島上小学校区 |
| 四箇村まちづくり協議会 | 粟生津小学校区の一部・分水北小学校区の一部 |

※燕第二地区まちづくり協議会は現在活動休止中

■まち協の構成イメージ（例）※まち協によって多少異なります。



自分たちの地域は自分たちでつくる

まち協とは、地域住民の皆さんが主体となって「自分たちの地域をもっと良いまちにしていこう！」と活動している地域コミュニティ組織です。燕市には、13のまち協があり、それぞれが住民の目線から課題の掘り起こし・協議・解決に取り組んでいます。

「私たちの地域では、災害が起きた時ってどうするんだっけ？」
「子どもが地域の人とふれあう機会をもっと増やしたいな！」
「高齢者が増えていいるから、健康づくりに取り組まないとね！」
といった身近な困りごとの解決や、「こうなったらいいな」という希望を具体化しながら、魅力的なまちづくりを進めています。



みんなの力で幅広い活動を

燕市のまち協は、おおむね小学校区を単位として構成されており、地域住民の皆さんだけでなく、自治会、民生委員、小中学校、PTA、社会福祉協議会、子ども会、老人クラブ、事業所など、地域内のさまざまな団体が関わりながら活動しています。各団体がそれぞれの「得意」を活かすことで、個別の団体だけでは対応が難しい課題解決や活動にも取り組むことができます。

市内13の地域で設立されている「まちづくり協議会（まち協）」。
各地域の特色を活かしながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

特集 まち協



燕北地区まちづくり協議会

幅広い世代が参加した「地域食堂」。子どもたちはうどん作りに挑戦し、大盛り上がりでした！完成したうどんを幼児から高齢者まで一緒に味わい、世代を超えた交流が生まれました。



燕第一地区まちづくり協議会

いざという時のための「防災訓練」。昨年は800人以上の住民が参加し、安否確認、避難訓練、避難者カード作成などを行いました。さらに、炊き出し訓練では試食を通じて実践力を高めました。



燕西地区まちづくり協議会

月に1回「親子バドミントン教室」を開催。講師からラケットの持ち方や体の使い方を教わりながら楽しく体を動かします。年に2回開催した大会では、汗・涙・笑顔ありで盛り上がりしました。



燕東コミュニティ協議会

地域交流を目的に開催したマジックショー「魔法の国からinつばめ」。子どもはもちろん、老若男女が一堂に会し、目の前で繰り広げられる不思議な世界に驚きと感動の声が上がりました。



吉田地区まちづくり協議会

つばめ商工会、吉田総合体育館とコラボで開催した、地域のお祭り「みんなでヨッショイ」。歌と踊り、フリーマーケットや飲食ブース、ちびっこ広場など盛りだくさん！みんなで楽しい時間を過ごしました。



吉田北まちづくり協議会

吉田北まち協で誕生した「方言戦隊メテオレンジャー」が特殊詐欺防止や食育の重要性の啓発運動を行いました。ダンスや替え歌などで楽しく啓発することで、地域住民の意識向上につながりました。

わたしたちのまちづくり ココがイチ押し！



登下校の見守り活動や地域の防災訓練、お祭りなどの交流イベント…。まち協が中心となって、こんなにたくさんの活動を知っていましたか？地域の皆さんが活動に興味をもち、参加することで、地域の未来を育む「まちづくり」へとつながります。

ここでは、年間を通してさまざまな活動を行う、各まち協の魅力あふれる「イチ押し」事業を紹介します。

まち協では、活動分野ごとにくいつかの部会があり、部会ごとにさまざまな活動に取り組んでいます。

〈主な活動分野と活動例〉

| 活動分野 | 活動の例 |
|-------|---|
| 地域交流 | 地域の祭り、スポーツ大会、文化祭、世代間交流イベント、餅つき大会、レクリエーション大会など |
| 防災・防犯 | 防災訓練、防犯パトロール、登下校見守り、危険箇所の点検など |
| 健康・福祉 | 体操教室、食育講座、高齢者の生活支援、居場所づくり、子育てサポートなど |
| 教育・文化 | 子ども向けの講座、伝統芸能の継承、歴史講座、地域の史跡巡りなど |
| 環境美化 | ゴミ拾い、花植え・草刈り、施設等の清掃・装飾、エコ工作体験など |

気になる活動はありますか？



粟生津地区協議会

さまざまな年代の住民が競技を楽しむ「支え合いピック」。「支え合い玉入れ」は、子どもから高齢者まで約100人が参加しました。チーム全員が競技を通じて絆を深め、支え合いの輪を広げました。



吉田南地区協議会

町内対抗運動会「吉田南わくわくスポーツフェスタ」。子どもから大人までさまざまな年代の住民500人が参加しました。全員参加のパン食い競争では熱い戦いが繰り広げられました。



分水小学校区まちづくり協議会

防災意識向上と地域交流を目的とした「防災フェア&KIDS フェスティバル」を開催！子どもたちはダンスやバルーンアートを楽しみながら、消火器の扱い方を体験するなど地域の安心・安全づくりを学びました。



分水北地区まちづくり協議会

地域住民の交流と支え合いの輪を広げるため、「地域のえんがわ」を年3～4回開催！毎回講義や健康体操など異なるテーマを設け、お茶とお菓子を囲みながら交流を深めました。



島上地区まちづくり協議会

地域住民130人ほどが参加する「餅つき大会」。もち米を蒸して臼と杵で餅つき体験をします。つきたてのお餅をみんなで楽しみながら、おもてなしの心や日本文化の魅力を体験しました。



四箇村まちづくり協議会

四箇村の歴史をわかりやすく解説する「歴史講座」は、地域住民以外の参加者やリピーターも多数います！郷土の歴史や文化に、幅広い年代の人が興味を抱き、魅力を再発見しました。

まち協で広がる笑顔の輪

まち協の活動にいざ潜入



家庭と地域のかかわりを
深めるために実施

サンタが家にやってくる！

(吉田地区まちづくり協議会)

12月24日にクリスマスプレゼントを持って子どもたちのところへ訪問。サンタも届け先とプレゼントを間違わないように入念に確認します。



サンタの突然の訪問にびっくりする子どもたち。子どもたちの笑顔を見て、サンタも心温まる気持ちになっていました。

地域の居場所づくりを目的に
毎月開催

にじいろクラブ

(燕東コミュニティ協議会)



12月にクリスマスオーナメントを作りました。毎月行うまち協のイベントを生きがいにしている参加者の姿も！

華やかなオーナメントが完成し、満面の笑みをこぼしていました。



吉田地区まちづくり協議会
福祉部会 部長
かのちづこ
狩野 千鶴子 さん

人見知りだった
私が夢中に！

皆さんの期待に応えたい
以前は人と関わるのが苦手でしたが、地域活動に参加するうちに、人とふれあい、みんなで活動することが楽しいと感じるようになりました。今回、福祉部会で、高齢者向けの交流企画として遠方に少し足を延ばした温泉ツアーを企画したのですが、予想をはるかに上回る参加があり、行きのバスから終始にぎやかで心弾む会となりました。帰

りのバスで「次のツアーはどんなかな」と楽しみにしている声を聞いたときは、やってよかったと思えました。来年度は、より満足してもらえ企画を考えようと気合いが入ります。
多くの人に知ってほしい
まち協の活動は、「部員になると負担が大きいのでは？」というイメージを持っている人も少なくないと思います。でも実際の関わり方は

人それぞれで、私も無理のない範囲で活動に参加しています。
吉田地区まち協は、女性メンバーも多く、部員同士の仲が良いのが特徴です。みんなで企画を考えていると、私だけでは思いつかないアイデアが生まれるので、吸収の毎日です。私たちも楽しんでもらえる企画を準備していますので、まち協の活動を知ってもらい、一人でも多くの人にまち協に参加してほしいです！



分水小学校区まちづくり協議会
副会長
ひぐちさちこ
樋口 幸子 さん

まち協は、
気づきと成長の場所

やりがいを感じる瞬間
みんなで汗をかきながらイベントを運営して、参加者が喜ぶ姿を見たときや、メンバー同士で「お疲れさまでした！」と声を掛け合う瞬間にやりがいを感じます！
まち協に参加して得たもの
まち協に参加して一番の収穫は、新たな気づきや学びです。おとし、初開催した「防災フェア&KIDS

フェスティバル」で、地震車を体験した子どもたちが「怖くなかった！楽しかった！」と言っている姿を見て、「防災意識を持ってもらうことって難しい！」と、感じました。そんな中、メンバーから「楽しく学ぶことは大切。もし実際に自分の家で同じ揺れが起きたらどうなるか、具体的に考えてもらえるよう伝えてみたら」というアドバイスをもらいました。
翌年、アドバイスをもとに子どもたちへの伝え方を変えてみたら、防災について考えてもらえるようになりました。この経験は、私にとって大きな気づきと成長の機会となりました。
共に運営するメンバーや参加者から学びながら、反省と改善を繰り返して活動していますが、これこそが「人とながつて何かをする」まち協の醍醐味だと実感しています。

※地震の揺れを再現できる装置を搭載した車両

熱中する楽しさと
好奇心を育てたい

きっかけは息子の一言
息子から「親子バドミントンに参加したい」と言われたことがまち協へ参加のきっかけでした。実際に参加してみたら楽しく、息子よりもハマってしまいました(笑)。
まち協の魅力は、子どもたちの成長を見守れること
まち協でスポーツ活動をして10年目になりますが、子どもたちの成長過程を見届ける



燕西地区まちづくり協議会
スポーツ部会
いしだしげる
石田 繁 さん

ことができるのはまち協の魅力です。試合に負けて悔し涙を流したり、できなかったことができるようになった時に喜ぶ姿など、子どもたちの日々の成長は私にとっても活動の励みになります。
活動の中で、「スポーツが上達してほしい」という思いはないんです。ただ、一つのこと熱中する楽しさや新しいことに挑戦する好奇心を育ててほしいと思っています。
挑戦といえは、おとしのバドミントン大会で、子どもたちから「試合の進行をしたい」と希望があり、任せてみることにしました。結果、進行は成功！子どもたちの成長を感じた瞬間でした。
また、親や学校の先生以外の大人とふれあえる場所があることは、子どもたちにとっても社会勉強になります。将来は、孫とまち協の活動に参加することが一つの夢です。



まち協の活動、実際どうなの？
まち協の活動は各地域の住民が運営しています。実際にそれぞれのまち協の運営に携わる3人にインタビューしました。

「ちょっと参加してみたいかも？」 その気持ちが、まちづくりへの第一歩。

「まちづくり」は、特別な誰かが行うことではなく、
住民一人ひとりの「こんなまちになったらいいな」という
小さな想いから生まれるものです。

まち協の皆さんからは、住民同士で活動する楽しさややりがい、満ちた笑顔があふれていました。
この笑顔こそが、まち協の活動が地域に根ざし、イキイキと活動している何よりの証かもしれません。

「ちょっと参加してみたいかも？」という気持ちが、
まちをもっと豊かにする大きな一歩となるでしょう。

ぜひ、あなたの「やってみたい」を、
もっと住みやすい、もっと安心な、もっと楽しいまちづくりに
活かしていきませんか？

welcome!

気軽にまち協の活動に参加してみませんか？

イベントに行ってみる！

まち協は気になるけど、なかなか活動に
参加する勇気出ないな…と思っている人
へ、まずは「楽しそう！」と感じるイベ
ントに遊びに来てみませんか？
好きな時間・気になる部分だけの参加も
お待ちしています！

ちょっとだけお手伝いをしてみる！

活動をお手伝いしたいけど、育児・学業・
仕事と日々大変な人へ、イベント当日に
「少しだけお手伝い」も大歓迎です。
活動内容や気になる点があれば、いつで
もお問い合わせください！

参加したい人はまずこちらから！

まち協の情報を
check

市ホームページでは、各まち協の連絡先や広報紙、活動・イベント情報な
どを掲載しています。まずは、あなたの地域のまち協をご確認ください。

〈事業所・地域団体の皆さんへ〉

一緒にまちを盛り上げたいと思っている
ことがあれば、ご提案ください！

詳細はこちら▶



■問合せ 地域振興課 協働推進係 ☎ 77・8361

地域の元気も、安心も。 まち協がつくり出す“地域の姿”

多くの人々の想いが込められたまち協の活動は、地域にどのような影響をもたらしている
のでしょうか。住民を支える2つの関係団体に聞いてみました。

＼関係団体へ／
interview

まち協がつくる お互いさまの心



燕市社会福祉協議会
地域福祉課 主任
いま あや か
今井 綾香 さん



▲地域支え合い活動「なんでもおしゃべり会」の様子

地域課題の一番の理解者

社会福祉協議会が推進する
住民の不安や困りごとを住民
同士で支え合う「地域支え合
い活動」にまち協メンバーと

して参加してもらっています。地域の現状や課題を理解
しているまち協だからこそ、
その視点が、解決策を見つけ
出すのに役立っています。
まち協の活動が地域福祉の
源に
子どもから働く世代、そし
て高齢者まで、誰もが支え合
う地域づくりを目指す私たち
にとって、まち協の多世代を
巻き込んだ交流活動はまさに
地域福祉の源となっています。

見守りと声かけが 地域の安全に



燕警察署
生活安全課 課長
さいとう なおふみ
齋藤 直史 さん

まち協の活動が事件事故防 止に

まち協が行う防犯啓発運動
や見守り活動は、安心・安全
なまちづくりに欠かせないと
感じています。
特に、登下校時の子ども見
守り活動で、まち協の皆さん
が、笑顔で「行ってらっしゃ
い」「お帰るなさい」と温か
い声をかける姿をよく見かけ
ます。この活動のおかげで、
子どもたちも地域の人とコ
ミュニケーションを図れるだ

けでなく、保護者も安心して
学校に送り出すことができて
いるのではないのでしょうか。
また、地域のパトロールに
関しても我々だけでは限界が
あるため、住民の皆さんによ
る見守り体制が整っているこ
とは心強いです。
住民同士の声かけが大切
まち協が活動の目的として
掲げている「住民同士の交流」
と「安全な地域づくり」は、
燕市で最も多い窃盗被害の防
止につながっています。見慣

コミュニケーションが希薄
になりがちな現代において、
「お互いさま」の精神で相手
を気にかける心は重要で
ずっと住み続ける地域で困
っているときに身近にいるのは
地域住民です。だからこそ、
住民同士が他人事ではなく、
助け合う思いやりの心を持ち
続けてほしいです。
そうした心の交流を促す一
歩として、まち協がつくり出
す地域交流の仕組みは、極め
て有意義な活動だと思いま
す。

